

しんしろ城下町の会 Vol.22

活動への応援、ご協力をお願いします。

新城中部地域計画キャッチフレーズ

新城城下に 華やかさと賑わいを！

しんしろ城下町の会は、新城市地域活動交付金事業を受け、「新城中部地区・地域交流促進事業」を実施しています。

新城中部地区・地域交流促進事業

- ①歴史を感じるまち
昨年度開催した『今昔物語』の続編として、当地域の歴史文化を中心とした資料展示、講習会の開催
- ②きれいなまち
小学校農場「ふあんふあんファーム」にてサツマイモ及びび花の栽培、『奇跡のヒマワリ』等の栽培
- ③元気なまち
講師によるラジオ体操講習会の開催、しるあと資料館付近の散策道の整備



※昨年度「新城中部今昔物語」展示・講演会



新城中部 今昔物語 続編 展示・講演会を開催します！

当会のコンセプトの一つに、『歴史を感じるまち』があります。

今年度は、市指定文化財でもある、『能楽』の魅力に迫ってみたいと思います。

昨年度開催した新城中部今昔物語と同様、各種資料の展示・講演会を、平成29年2月4日(土)・5日(日)の2日間、新城文化会館展示室にて開催する事が決定しました。

現在、能楽以外の団体とも交渉中ですので、詳細については順次お知らせさせて頂きま

す。

す。

新城市指定文化財

能舞台の各名称

- 種別・名称 **(建造物) 能舞台** 昭和33年4月1日指定
- 所在地 新城市宇宮ノ後
- 内容 富永神社の能舞台は、寛政5年(1793)では屋根の無い組立式の舞台であったことが知られている。享和2年(1802)になると建物として新築され、この舞台は文政9年(1826)に再建されたものである。
当時、近国無類と言われた本舞台は、江戸城内の能舞台を模して建造されたとも言われ、鏡板に老松、切戸脇壁板に竹が描かれている。
構造：入母屋造り、総瓦葺き、柱の長さ4.7m、床高76cm
舞台：京間三間四方(面積42㎡) 後座：京間一間半(面積18㎡)
横掛かり：長さ/田舎間七間、幅/七尺六寸(面積28.8㎡)
- 種別・名称 **(無形文化財) 祭礼能** 昭和33年4月1日指定
- 所在地 新城市宇宮ノ後
- 内容 新城の能楽の歴史は、天正4年(1576)に長祿の戦いで功績のあった奥平信昌が築いた新城城の落成祝として観世と三郎を招き、城中で祝能を催したのが始まりとされる。
元文元年(1736)、領主の嘗泊定用の家督相続を祝うため、富永神社の氏子(若しくは町民による能の愛好家など)が当神社で演能したという。その後、このことを契機として「祭礼能」が上記の能舞台で奉納されるようになり、現在では毎年10月の例大祭で行われている。
ここでの能・狂言は素人だけで演じられるため、全国的にも大変珍しい特色がある。

新城市教育委員会

※写真は富永神社能舞台前に立っている看板です。

まちづくりや地域への提案などありましたら、気軽に声をおかけください。

発行 平成28年9月1日

新城自治振興事務所

電話 0536(23)7693

FAX 0536(23)7694